

第 229 回 浜田市教育委員会定例会

日 時： 令和 6 年 7 月 24 日（水） 14 時 30 分から

場 所： 浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

出席者： 岡田教育長 杉野本委員 岡山委員 倉本委員 浅津委員

事務局： 草刈部長 藤井課長 山口課長 鳥居室長 松井課長 山本課長

（書記 日ノ原係長 皆田主任主事）

1 教育長報告

2 議題

(1) 令和 6 年度教育委員会学校訪問（幼稚園）について …… 資料 1

3 部長、課長等報告事項

(1) 教育部長 …… 資料 2

(2) 教育総務課長 …… 資料 3

(3) 学校教育課長 …… 資料 4

(4) 学力向上推進室長 …… 資料 5

(5) スポーツ振興課長兼高校総体・国スポ・全スポ推進室長 …… 資料 6

(6) 文化振興課長兼神楽文化伝承室長 …… 資料 7

4 その他

(1) その他

※次回定例会日程 令和6年8月22日（木）14時30分から
場所：浜田市立中央図書館

※次々回定例会日程 令和6年9月 日（ ） 時 分から

第229回浜田市教育委員会定例会・教育長報告

令和6年7月24日

月日	内容
7月1日 (月)	社会を明るくする運動メッセージ伝達式 (市役所講堂)
7月2日 (火)	定例校長会 (中央図書館) 6月市議会採決・全員協議会
7月3日 (水)	園長連絡会 (浜田幼稚園)
7月4日 (木)	浜田市教育委員会学校訪問 (浜田東中、旭中、金城中、弥栄中)
7月5日 (金)	浜田市行財政改革推進委員会 (市役所講堂)
7月8日 (月)	島根県総合教育審議会 (松江市)
7月9日 (火)	浜田市教育委員会学校訪問 (一中、二中、三中、三隅中) 島根県市町村教育委員会連合会理事会 (オンライン) 藤恵会教育長表敬 (教育長室)
7月10日 (水)	叙勲伝達 (元原井小学校長 佐々木康雄氏)
7月11日 (木)	ことばを育てる親の会浜田支部要望 (教育委員室)
7月18日 (木)	ことばを育てる親の会三隅支部要望 (教育委員室)
7月21日 (日)	島根県中学校総合体育大会・体操 (県立体育館) 島根県中学校総合体育大会・柔道 (石見武道館) 国際交流協会総会 (浜田まちづくりセンター)
7月22日 (月)	教育長表敬 (少年剣道全国大会出場・石見恒心会) 定例課長会議 (市役所講堂)
7月23日 (火)	島根県中学校総合体育大会・野球 (浜田市野球場) 幼小連携・接続研修会 (浜田まちづくりセンター) 市PTA連合会との意見交換会 (市役所講堂)
7月24日 (水)	浜田市教育委員会定例会 (市役所講堂)

令和6年7月24日
教育委員会定例会資料
教育総務課

令和6年度 教育委員会学校訪問（幼稚園）

1 目的

浜田市教育大綱及び浜田市教育振興計画に掲げた基本理念に即した教育行政の運営が行われるよう、教育委員会が学校経営・学校運営の見聞し、今後の教育行政の推進に意を用いるために行うもの。

2 訪問日程 令和6年10月22日（火）午前中

3 訪問園 浜田幼稚園

4 訪問者

教育長、教育委員（4名）、教育総務課長、総務企画係長（以上7名）

5 訪問内容

(1) 浜田幼稚園内視察 20分程度

(2) ヒアリング（園長・教頭対象）30分程度（園からの説明10分程度）

ア 意見交換

（ア）意見交換テーマ

※参考：過去の意見交換テーマ

- R5 a 公立幼稚園統合後における課題等について
- b 通級教室設置後の課題等について
- c 幼児教育センター設置後の課題等について

- R4 a 令和5年度からの幼稚園統合における課題等について

令和6年9月定例会議日程(案)

		期間	日程案	会場	開始時間等		
8月	5日	(月)	総務文教委員会	全員協議会室	10時～		
	6日	(火)	福祉環境委員会	全員協議会室	10時～		
	7日	(水)	産業建設委員会	全員協議会室	10時～		
	8日	(木)					
	9日	(金)					
	10日	(土)					
	11日	(日)					
	12日	(月)					
	13日	(火)					
	14日	(水)					
	15日	(木)					
	16日	(金)					
	17日	(土)					
	18日	(日)					
	19日	(月)		全員協議会 請願・陳情・意見書・決議書締切 議員研修会(※7/2議運で決定)	全員協議会室 全員協議会室	10時～ 【締切】13時 13時30分～	
	20日	(火)					
	21日	(水)		一般質問通告書メール、FAX受付締切		【締切】11時	
	22日	(木)		一般質問通告締切		【締切】11時	
	23日	(金)					
	24日	(土)					
	25日	(日)					
	26日	(月)		議会運営委員会 議会広報広聴委員会	全員協議会室 第4委員会室	10時～ 13時30分～	
	27日	(火)		一般質問説明用補助資料提出締切		【締切】12時	
	28日	(水)					
	29日	(木)					
	30日	(金)	1	開会 提案説明 全員協議会 総務文教委員会 福祉環境委員会 産業建設委員会	議場 全員協議会室 第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室	10時～ 本会議終了後 全員協議会終了後 全員協議会終了後 全員協議会終了後	
	31日	(土)	2				
	9月	1日	(日)	3			
		2日	(月)	4	一般質問	議場	10時～
		3日	(火)	5	一般質問	議場	10時～
		4日	(水)	6	一般質問	議場	10時～
5日		(木)	7	一般質問	議場	10時～	
6日		(金)	8	休会			
7日		(土)	9				
8日		(日)	10				
9日		(月)	11	議案質疑 予算決算委員会(閲覧資料要求決定)	議場 全員協議会室	10時～ 本会議終了後	
10日		(火)	12	総務文教委員会	全員協議会室	10時～	
11日		(水)	13	福祉環境委員会	全員協議会室	10時～	
12日		(木)	14	産業建設委員会	全員協議会室	10時～	
13日		(金)	15	予算決算委員会(9月補正審査)	全員協議会室	10時～	
14日		(土)	16				
15日		(日)	17				
16日		(月)	18				
17日		(火)	19	休会			
18日		(水)	20	休会			
19日		(木)	21	予算決算委員会(総務文教)	全員協議会室	10時～	
20日		(金)	22	予算決算委員会(福祉環境)	全員協議会室	10時～	
21日		(土)	23				
22日		(日)	24				
23日		(月)	25				
24日		(火)	26	予算決算委員会(産業建設)	全員協議会室	10時～	
25日		(水)	27	予算決算委員会(予備)	全員協議会室	10時～	
26日		(木)	28	休会 討論通告期限		【締切】17時	
27日		(金)	29	予算決算委員会(附帯意見協議) 対抗討論通告期限	全員協議会室	10時～ 【締切】13時	
28日		(土)	30				
29日		(日)	31				
30日		(月)	32	採決 全員協議会 議会運営委員会	議場 全員協議会室 第4委員会室	10時～ 本会議終了後 全員協議会終了後	

行事等予定表

7月24日 ～ 8月31日

月日	曜日	開始～終了	内容	場所	担当課	教育委員	備考
6月8日～8月25日		～	企画展「石正美術館 動物コレクション展『日本画200』」	石正美術館	文化振興課		
6月8日～9月29日		～	企画展「切図から見た城下町一明治時代の浜田市街地一」	浜田城資料館	文化振興課		
6月20日～8月20日		～	併設企画コーナー展「新一万円札の顔は渋沢栄一」	浜田郷土資料館	文化振興課		
7月13日～9月23日		～	こども美術館「海とそふアート展」	世界こども美術館	文化振興課		
7月24日	(水)	9:30～11:30	調べる学習応援講座	中央図書館	学力向上推進室		
7月25日	(木)	9:30～11:30	調べる学習応援講座	金城図書館	学力向上推進室		
7月25日	(木)	13:30～15:30	調べる学習応援講座	旭図書館	学力向上推進室		
7月26日	(金)	13:30～15:30	調べる学習応援講座	三隅図書館	学力向上推進室		
7月26日	(金)	14:00～16:05	第1回浜田市コミュニティ・スクール研修会 「浜田市のコミュニティ・スクールの導入に向けて」	中央図書館	学校教育課	○	
7月26日～31日		～	石中央文化ホール「夏休みの思いで Piano 演奏2024」	石中央文化ホール	文化振興課		
7月28日	(日)	～	浜田市美術展ワークショップ写真教室 「プリント大伸ばし体験」	石見まちづくりセンター	文化振興課		
7月29日	(月)	9:30～11:30	調べる学習応援講座	中央図書館	学力向上推進室		
7月29日	(月)	13:30～15:30	調べる学習応援講座	中央図書館	学力向上推進室		
7月30日	(火)	9:30～11:30	調べる学習応援講座	弥栄小学校	学力向上推進室		
7月30日	(火)	13:30～15:30	調べる学習応援講座	中央図書館	学力向上推進室		
7月30日	(火)	18:30～20:30	石見神楽伝承内容検討専門委員会	中央図書館	神楽文化伝承室		
8月1日	(木)	13:30～15:30	調べる学習応援講座	三隅図書館	学力向上推進室		
8月1日～9月1日		～	こども美術館「ハマビ海の中」	世界こども美術館	文化振興課		
8月2日	(金)	13:00～15:30	令和6年度ふれあいフォーラム	石中央文化ホール	人権同和教育室	○	
8月3日・4日	(土・日)	16:30～	第58回中国中学校体操競技選手権大会	県立体育館	学校教育課		
8月4日	(日)	13:30～15:30	石中央文化ホール「バックステージツアー!!～ホール裏側探検 隊集合～」	石中央文化ホール	文化振興課		
8月5日	(月)	9:30～11:30	学校図書館活用教育研修会	中央図書館	学力向上推進室		
8月6日	(火)	1:30～2:45	【予選】パリ2024オリンピック競技大会パブリックビューイ ング「三浦龍司選手へふるさと浜田から追い風を送ろう！」	国府小学校	スポーツ振興課		
8月8日	(木)	4:00～5:15	【決勝】パリ2024オリンピック競技大会パブリックビューイ ング「三浦龍司選手へふるさと浜田から追い風を送ろう！」	浜田東中学校	スポーツ振興課		
8月22日	(木)	14:30～	第230回教育委員会定例会	中央図書館	教育総務課	○	
8月26日	(月)	14:00～16:30	第2回浜田市コミュニティ・スクール研修会兼「ふるさと教 育」に関する研修会	浜田市総合福祉センター	学校教育課		
8月27日	(火)	18:30～20:30	石見神楽伝承内容検討専門委員会	中央図書館	神楽文化伝承室		
8月30日	(金)	9:00～11:50	第19回浜田市中学校弁論大会	石中央文化ホール	学校教育課	○	
		～					
		～					

資料4

令和6年7月24日
教育委員会定例会資料
学校教育課

令和6年度 第2回浜田市コミュニティ・スクール研修会 兼「ふるさと教育」に関する研修会 実施要領 (学校用)

- 1 目的 ①「はまだっ子共育推進事業」を基盤とする浜田市のコミュニティ・スクールの在り方について、よさや配慮を要する点について理解する。
②「学校運営協議会」と「はまだっ子共育推進事業」との一体的取り組み、まちづくりセンターとの連携の在り方、留意点等を理解し、今後の地域学校協働活動に生かす。
③ 学校のふるさと教育担当者とまちづくりセンター職員等が校区の「活動一覧表」を見直し、意見交換をすることで、ふるさと教育の確認を図る。

2 主催 浜田市教育委員会

3 日時 令和6年8月26日(月) 14:00~16:30

4 場所 浜田市総合福祉センター 会議室 (浜田市野原町 859-1)

- 5 対象 ・各小中学校の「ふるさと教育」担当者又は地域連携担当者 (各校1名参加)
※担当者の都合が見つからない場合は必ず代理の方を1名出してください。
・まちづくりセンター職員 ・共育コーディネーター
・まちづくりコーディネーター

6 日程

13:30 14:00 14:10 15:30 15:50 16:20 16:30

受付	開会	【講義】 「コミュニティ・スクール」と地域の 連携の在り方	質疑	【意見交換】 中学校区の「ふるさと教育」の 確認	閉会
----	----	-------------------------------------	----	--------------------------------	----

7 内容

【講義】 コミュニティ・スクールの仕組みや浜田市のコミュニティ・スクールの導入に向けて学校と地域の連携の在り方についてお話していただきます。

講師:島根大学大学院教育学研究科 講師 大野 公寛 氏

【意見交換】 中学校区ごとに学校のふるさと教育担当者とまちづくりセンター職員等が校区の「活動一覧表」を見直し、意見交換をして、ふるさと教育の確認を図ります。

8 参加について

下の「出欠確認用二次元コード」を読み取って質問項目に沿って回答していただくか、浜田市まちづくり社会教育課 (TEL:25-9204 山本・佐々木) までお電話で出欠の連絡をお願いいたします。



出欠確認用二次元コード

【申し込み締め切り 7/26 (金)】

【問合せ先】

浜田市教育委員会 学校教育課 担当:山本・佐々木
(まちづくり社会教育課)

TEL:25-9204 FAX:23-1866

e-mail:machizukuri@city.hamada.lg.jp

第4回(7月)市校長会資料

令和6年7月2日(火)
学力向上推進室

1 算数・数学授業づくり研修会について

6月11日(火)に算数・数学アドバイザーをしている環太平洋大学 前田一誠教授を講師とした研修会を開催しました。参加者は54名でした。多くの先生方に講義及び演習で前田教授が提唱し、市教育委員会の算数・数学の授業改善の切り口としている「たくさんやる」について学んでいただいたことは有意義であったと思っています。また、会場を提供していただいた第三中学校には大変お世話になりました。

前田教授には、令和4年度から指定校を中心に関わっていただいています。そして、「たくさんやる」を重点としたのは令和5年度からでした。令和5年度の学力向上推進室による算数の訪問指導では、先生方の授業がよい方向に変わってきていると感じていました。また、各学校における算数・数学の授業改善に向かって先生方が取り組んでいる成果は、以下のように令和5年度の学力調査においても数値としても現れ始めています。網掛け部分が前年度より改善が認められるものです。

※ 平均正答率の差は県平均正答率との差を表す。()内の数値は昨年度の数値を表す。

		小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
全国 学調	平均正答率の差		-1.0(-4.0)			-1.0(-3.0)
	好きの割合		50.8(52.6)			57.4(53.9)
県 学調	平均正答率の差	±0(-2.0)	+0.5(-2.9)	-3.0(-5.9)	-5.0(-2.9)	
	好きの割合	61.7(47.9)	53.6(53.3)	54.5(41.4)	44.3(54.9)	

以下、前田教授の講義内容の概要です。

(1) 授業づくりにおける今日的課題

- 「主体的・対話的で深い学び」への偏重
 - ・ 話し合いばかりでは、子どもの意欲も半減(「もういいよ」となる)
- 「振り返り」に対する解釈の狭さ
 - ・ 「振り返り」=「文章で書かせる」との捉えが多い
 - ・ 練習問題をする事自体が「振り返り」となることもある
- 練習問題の偏り
 - ・ 目的達成のための一つ的手段 → よりよい練習問題を、より効果が出るように設定する
 - ・ このことの教育的価値を再考し、授業づくりに反映させる

留意点

- ・ いわゆるドリル学習ではない
- ・ 学習過程の中でどのように位置付けるのか
- ・ 全ての領域、内容を対象とする
- ・ 練習問題は、終末場面だけではない

(2) 何を、何のために練習させるのか → 練習内容と目的を明確にもつ

- 求答
- 説明力の定着、強化

- 説明する技能の向上（例：数直線に、さくらんぼ図に、位取り表に、式に）
- 「既習問題」を練習して関連する内容の想起・確認 ➡ 見通しをもたせる
- 「先取り問題（次時の問題、上級学年の問題、入試問題等）」で思考力を高める、見通しをもたせる、自身や意欲をもたせる
- 楽しさを感じ

(3) できるだけ多く練習させる（たくさんやらせる）方法とタイムマネジメント

- 自力解決や交流の時間は、必要以上に設定しない
- 必要以上に教師の話をしない
- 得意な子、やりたい子にはもっと！（個別最適化への対応） ➡ 苦手な子への対応の時間を生む
※ デジタルコンテンツも活用しながら
- 終末場面限定しない
- 子どもが楽しめるように（ゲーム性、多様性のある解、制限時間の設定 等）

(4) 研修の最後での前田教授の言葉

- 「たくさんやる」ために、何かを「削る」ことが一番難しい
- 先生方には、勇気をもって「削る決断」をしてほしい
- 今日は、研究授業のための研修ではなく、普段の授業を変えるための研修である
日々の授業づくりに活かしてほしい

(5) 参加者の事後アンケートから

- たくさんやらせるという意味を誤解していた。無理なく自然とたくさんやらせるようにしていきたい。
- 小さなアレンジを大切に授業づくりを行いたい。
- 練習問題を授業の終末以外でも取り入れてみたい。また、本時のねらいに向けてつながりのある問題を考えたい。

「たくさんやる」は終末場面だけではないこと、したがって学習過程の中に適切に位置付けていくことについては、これまでも伝えてきたつもりでしたが、残念ながら参加者の事後アンケートにもあるように誤解が生じている事実もあります。前田教授が最後に伝えているように、日々の授業の中で「たくさんやる」に向かった実践が広がっていくことを願っていますし、学力向上推進室が行っている算数・数学の訪問指導では、このことについてコメントをしていくつもりです。各学校における管理職からの働きかけもお願いします。

The screenshot shows a PowerPoint slide with the title "「たくさんやる」プランを出し合ってみよう" and a subtitle "コピーして活用ください". It is organized into two main sections for 3rd and 4th grades. Each section has four columns: "導入" (Introduction), "展開 (結合いませむ)" (Development/Integration), "活用期" (Application), and "その他の過程" (Other processes). The 3rd grade section includes notes like "6人で同じ数ずつ分けるとの人数を調べて考える" and "ステップアップ算数の問題をやってみる (30÷5) 口×6=6×口 (九九の式をかき) 九九を繰る数のやり方". The 4th grade section includes notes like "2桁の割りの導入で、わる数が1桁の算数を導入出し、繰り出し割りの仕方を説明" and "4人を2つに分け、異なる時間で説明させる".

左のパワーポイントシートは、ある学校の算数（複式）授業後の研究協議で活用したものです。共同編集機能を活用しながら参加者が「たくさんやる」についてアイデアを出し合いました。

時間の関係で、十分な協議とまでは至りませんでしたが、授業構想を立てる段階において、このような取組があってもよいと思っています。

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の活用に関する方針決定について

1 調査検討業務について

(1) 業務委託

委託先 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

委託期間 令和5年7月31日(月)～11月30日(木)

(2) 基本的な考え方

この度の調査検討業務は、サン・ビレッジ浜田アイススケート場の今後のあり方について、どのような施設形態が最適であるかを検討するため、近年の利用・運営状況や、本市の今後のスポーツ施策、わが国におけるスポーツニーズ変化などを踏まえ、アイススケート場のより効果的・合理的な活用方法について調査を行ったものです。

浜田市では人口減少対策を重点課題の一つと位置付けており、市政運営における最上位計画である「第2次浜田市総合振興計画 後期基本計画」においても「若者が暮らしたいまちづくり」を中心とした施策を展開しています。

したがって、アイススケート場の効果的・合理的な活用方法については、この点に十分留意しながら、若者や子育て世代をはじめとする、より多くの市民に利用される施設となるよう検討を行いました。

(3) 考察まとめ

サン・ビレッジ浜田アイススケート場は、屋内人工芝施設として機能転用を図ることが望ましい。ただし、屋内人工芝施設と体育館施設の評価はほぼ同評価である。

また、事業化においては、民間活力がより発揮しやすい機能を選定することが肝要である。

2 浜田市の方針について【令和6年7月8日決定】

サン・ビレッジ浜田アイススケート場は、
屋内人工芝施設（または体育館施設）として機能を転用する。

3 市議会等関係機関との協議

令和5年12月22日(金)	教育委員会(報告書、方針案)
令和6年1月24日(水)	総務文教委員会(報告書、方針案)
1月24日(水)	スポーツ推進審議会(報告書、方針案)
2月6日(火)	全員協議会(報告書、方針案)
2月26日(月)	全員協議会(報告書の算出根拠)
2月27日(火)	個人一般質問(佐々木豊治議員)
3月5日(火)	総務文教委員会(請願・陳情審査)
4月24日(水)	総務文教委員会(現地確認)
6月25日(火)	総務文教委員会(所管事務調査 あり方について)
7月2日(水)	全員協議会(あり方について)

4 今後の対応

方針決定にあたっては、現状の課題や市民全体の意識、ライフサイクルコスト、若者対策、子育て支援など様々な視点から総合的に判断しました。

調査検討報告書の考察まとめ(総論)では、「屋内人工芝施設」として機能転用を図ることが望ましいと整理していますが、機能転用にあたっては、さらに詳細な評価・分析を行い、具体的なスポーツ競技やアクティビティ種目を選定した上で、人工芝又は板張りなどの仕様を決定する必要があることから、今後、施設整備に関する基本計画を策定してまいります。

第2回石見神楽伝承内容検討専門委員会の会議結果について

- 1 日時 : 令和6年6月27日(木) 18時30分～20時25分
- 2 場所 : 浜田市立中央図書館 2階 多目的ホール
- 3 出席者 : 委員 14人
- 4 議題 : (1) 報告事項
 - ① 第1回専門委員会における主な意見について
 - ② 今後の専門委員会での検討テーマ(案)について
 (2) 意見交換 「石見神楽の保存・伝承すべき内容について」

[主な意見]

区分	保存・伝承すべき内容	理由等
神楽産業・ものづくり	神楽道具 (面、衣裳、蛇胴等)	劣化や災害リスクなどもあり、失われやすい。時代ごとに残すことが必要。神楽道具がないと舞うことさえできない。
	神楽産業 (ものづくり技術)	浜田発祥の神楽産業を残すために、弟子を取れるよう支援することが必要。神楽産業研修制度の創設、ブランド化、文化財指定の検討が必要。現在の工房(商号)をなくしてはならない。
舞い	奉納神楽文化	地域住民の集いの場であり、独自文化で神楽本来の姿。
	儀式舞	全演目に通じる基本動作であり、神楽の起源。
	社中、演目	舞い手や夜明かし舞の減少により各社中が舞う演目数が少なくなっている(特に儀式舞)。社中と演目をセットで文化財指定すべき。時代とともに舞いは変化するので、映像に残すことが必要。
	社中の流派	浜田のなかでの違いや団体ごとの舞や囃子の違いを認識することで自分たちの社中の良さに気づくことができる。
	舞い手の心意気	古いものを大切に、新しいものを取り入れる。社中が舞いを変えてきたのではなく、周りから求められるので、変化を受容し、発展してきた。
歴史・伝統	歴史	歴史の変遷、県外や海外公演の歴史、石見神楽の特徴などを学べる機会を作ることが必要。
	神楽台本	神楽台本の軌跡の調査が必要。
	神楽関係者の思い	思いや生き方から子どもたちが学ぶことがある。

※ 第3回専門委員会(7月30日)までの間に、委員の考えや想いをより詳細に把握するため、個別ヒアリングを実施予定。